



石川県 健民運動

《25. 11. 29第211号》

かわら版



11月号

白菊・金沢市 11.4

毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～

鼓動 「野鳥の会石川」の活動紹介 日本野鳥の会石川副代表 青山 輝久

特集 健民運動表彰式・花いっぱいのつどい開催

健康体力づくり活動の推進

- 第2回美しい石川を歩く・加賀海岸コース

環境・文化活動の推進

- 第42回ふるさとのツバメ総調査報告書
- 平成26年度ツバメのお宿シール

青少年健全育成活動の推進

- 平成25年度青少年ボランティア賞決定
- 第2回ほっと石川ワールドカフェ
- 「子どもたちの夢」が、今どんどん実現しています！！

健民運動活動紹介・奨励コーナー

第22回石川県民スポーツ・レクリエーション祭

12月の健民運動カレンダー

「あいむ」だより

薫風 花づくりは、一年の芸術 石川花の会会長 中堀 宏昭



次年度用ツバメのお宿シール

鼓 動

日本野鳥の会石川

副代表 青山 輝久

「野鳥の会石川」の活動紹介

私は、かつて健民運動推進本部主催の「七尾西湾バスツアー」に参加したことがあります。それが野鳥にはまるきっかけとなり、感謝しています。また、40年以上の長期にわたり全県規模でツバメの生息数等を調査する「ふるさとのツバメ総調査」を続けているのは石川県だけであり、敬意を表したいと思います。

さて、日常的にカスミ網で野鳥を捕り、籠に入れて楽しんでいた当時の風潮に逆らい、「野の鳥は野に」と日本野鳥の会を作った人がいました。金沢生まれの中西悟堂です。

石川県でも、野鳥愛好者が集まり1980年に野鳥の会の支部を作り、今にいたっています。以下、支部の活動を紹介します。年間約25回の探鳥会と6回の支部報が活動の車の両輪です。探鳥会は、定例として毎月第2日曜日に金沢市の金石普正寺の森で行っており、30年近く続いています。また、毎月1回、場所を変えて行う探鳥会も実施しています。老若男女が野鳥の姿を求め、囀りを楽しみながら散策を楽しみます。季節の花や木の実、生き物との出会いもあり、仲間との語らいを楽しみに集まってくる方もいます。支部報は会員が野鳥を通して交流する広場であり、野鳥の写真がページを飾ってくれます。また、1984年開館の加賀市鴨池観察館のサポートにもかかわっています。

野鳥は見て楽しむだけでなく、保護も大切です。会には「カスミ網撲滅運動」やガンカモ県下一斉調査の歴史があります。1997年にはナホトカ号からの重油流出により、多数の海鳥が難に遭いました。死んだ鳥もいましたが、会員の活動により救助保護され、洗淨りハビリ後、海に放たれた鳥も多くいました。この活動には、かつて普正寺にあった県野鳥園の活動や研修の経験が大いに役立ったように思います。

現在は、傷病鳥の保護に加え、集団繁殖地の改変や大規模開発の際には、野鳥の生息環境について配慮すること。また、風力発電所のバードストライク対策や愛玩用違法飼育など、課題は多岐にわたっています。

現在、会員数は約230名。高齢化の影響で最盛期の約6割となっています。若い会員を増やすべく、探鳥会の充実と楽しい交流の場を作っていきたいと考えています。



普正寺探鳥会 H21.12.13

特 集

健民運動表彰式・ 花いっぱいのつどい 開催

11月17日(日)午前11時、石川県庁19階展望ロビーにおいて、平成25年度の「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」と『家庭の日』作品コンクール」の合同表彰式を開催しました。今年度は、両コンクール合わせて38名の小・中学生のみなさんと、小学校3校が受賞しました。

また、午後1時から、同会場で「花いっぱいのつどい」を開催いたしました。

■ ふるさとのツバメ総調査作品コンクール

感想文の部／記録・観察作品の部

■ ツバメのお宿シール原画コンクール

次年度調査で使用の原画を決定



感想文の部最優秀賞受賞の児玉さん

記録・観察作品の部最優秀賞の
加賀市立山代小学校

原画コンクール
最優秀賞の坂口さん

ふるさとのツバメ総調査作品コンクール「感想文の部」では、最優秀賞を獲得した加賀市立山代小学校6年の児玉菜那美さんと優秀賞2名、佳作1名に、谷本正憲本部長の表彰状及び記念品が贈呈されました。「記録・観察作品の部」では、最優秀賞は加賀市立山代小学校、優秀賞は金沢市立中央小学校と白山市立松任小学校の2校が受賞しました。また、今年度の「ツバメのお宿シール原画コンクール」には、昨年度を上回る1,696点の応募があり、能登町立松波小学校5年の坂口歩さんの作品が次年度の「ふるさとのツバメ総調査」で使用する「ツバメのお宿シール」の原画に選ばれました。最優秀賞を受賞した坂口さんのほか、優秀賞1名と佳作7名にそれぞれ表彰状と記念品が贈呈されました。

「家庭の日」作品コンクール

作文の部／絵画・ポスターの部



作文の部で受賞の山腰さん

絵画・ポスターの部の北村さん

「家庭の日」作品コンクールの「作文の部」では、「ぼくのおとうと」で最優秀賞に輝いた金沢市立材木町小学校1年の山腰茂直さんに健民運動の青少年健全育成活動推進委員会の正木明委員長から表彰状と記念品が贈呈されました。そのほか優秀賞2名と佳作4名が表彰されました。また、「絵画・ポスターの部」では、「みんなでいっしょにおんせんにいきたいな」で加賀市立分校小学校1年の北村悠月さんが最優秀賞を受賞しました。そのほか5名が優秀賞、12名が佳作を受賞し、それぞれ、谷本正憲健民運動推進本部長の表彰状及び記念品が贈呈されました。

花いっぱいをつどい 第49回花いっぱいコンクール表彰式 開催



開会式 上田事務局長のあいさつ

最優秀賞を受賞する中能登中学校代表

優秀賞を受賞する皆さん



中堀会長の講評

優秀花壇の説明 倉審査員

表彰式参加の皆さん

11月17日(日)、午後1時から県庁19階展望ロビーにおいて、第49回「花いっぱいのつどい」を開催し、今年度の「花いっぱいコンクール」の表彰式を行いました。最初に上田事務局長があいさつし、続いて審査委員長である「石川花の会」の中堀宏昭会長が、最優秀賞を獲得した中能登町立中能登中学校を始め、入賞の個人や団体に谷本正憲本部長の表彰状と記念品を贈呈しました。その後、中堀審査委員長が講評を行い、倉ひとみ審査員がスライドで花壇を示しながら解説を行いました。また、奨励賞を受賞した、ななおあいじ保育園の代表が花壇造りの体験発表を行いました。解説、発表とも、花を愛し、人を愛する豊かな心が感じられ、次年度の取り組みに大いに参考になりました。表彰式終了後は、審査員による花づくり相談会が開かれました。

健民運動表彰・花いっぱいコンクール入賞作品の展示会を開催 ふるさとのツバメ総調査パネル展 / 「家庭の日」作品コンクール入選作品展 花いっぱいコンクール写真展 石川県庁19階展望ロビーなどで開催



ふるさとのツバメ総調査パネル展

「家庭の日」作品コンクール入選作品展

花いっぱいコンクール写真展

本部では、県庁19階展望ロビーで、11月12日(火)から「ふるさとのツバメ総調査パネル展」、「『家庭の日』作品コンクール入選作品展」、「花いっぱいコンクール写真展」を開催し、連日多くの方に訪れていただきました。健民運動表彰式と「花いっぱいのつどい」が開催された17日には、入賞者の皆さんやその保護者、ご家族が多数訪れ、ツバメ調査の展示作品や家庭の日の絵画作品を鑑賞したり、作文を熱心に読んだりする姿が見られました。花いっぱいコンクール写真展には一般の方も多く訪れ、工夫と努力の跡が見られる花壇に驚嘆する姿が多く見られました。展示された花壇の写真は、「つどい」終了後それぞれの受賞者に贈呈されました。

「『家庭の日』作品コンクール入選作品展」は県庁19階での開催のほか、来年1月16日まで、七尾市、金沢市、小松市の3箇所の「いしかわこども交流センター」で開催します。

健康体力づくり活動の推進

第2回 美しい石川を歩く を 「加賀海岸コース」 で実施



ストレッチングで準備体操



林間の小径を「片野海岸」に向けて



集落の一般道を「加佐岬灯台」へ

11月4日（月・振休）、健民運動推進本部は今年度の新規事業「美しい石川を歩く」の第2回「加賀海岸コース」を実施しました。6月に実施した第1回が「能登の自然コース」を実施したのに対して、今回は美しい秋の加賀路の自然と歴史に触れるコースに設定しました。今回の参加者は小学生から74歳までの32名の皆さんで、石川県歩こう会連絡協議会の方に指導者としてご協力をいただきました。

当日は、曇天ながらウォーキングには最適のコンディションの一日となりました。一行は加賀市塩屋海岸でバスを降り、畑谷看護師さんの指導で、軽くストレッチを行い、加賀海岸サイクリングロードを片野海岸に向けて出発しました。さわやかな秋の日のウォーキングは松林を抜け、海水浴場の「片野海岸」での小休止をはさみ、143号線沿いに集落の一般道や海沿いの自然歩道をたどって約10kmを歩き、「加佐岬灯台」に到着しました。そこからはバスで「ヴァンヴェール美岬」へ移動して野菜中心のヘルシーな昼食をとり、橋立の「北前船の里資料館」を見学しました。加賀市の旧北国街道沿いの自然や歴史にふれる素晴らしい一日となりました。

アンケートでは「看護師さんに歩行時の腕の振り方を教えていただき疲れもなく完歩できた。」「良く準備され安心して歩けるコースで、感謝します。」「是非また参加したい。」などうれしい声をたくさんいただきました。

担当者の万歩計には17,000歩を超える歩数が記録されました。



ウォーキング後の楽しい昼食



北前船の歴史を勉強しました

完歩証と記念品 を贈呈

今回の第2回「美しい石川を歩く」の「加賀海岸コース」にご参加いただいた皆さんには、完歩証と参加記念の缶バッジ、記念タオルを贈呈いたしました。



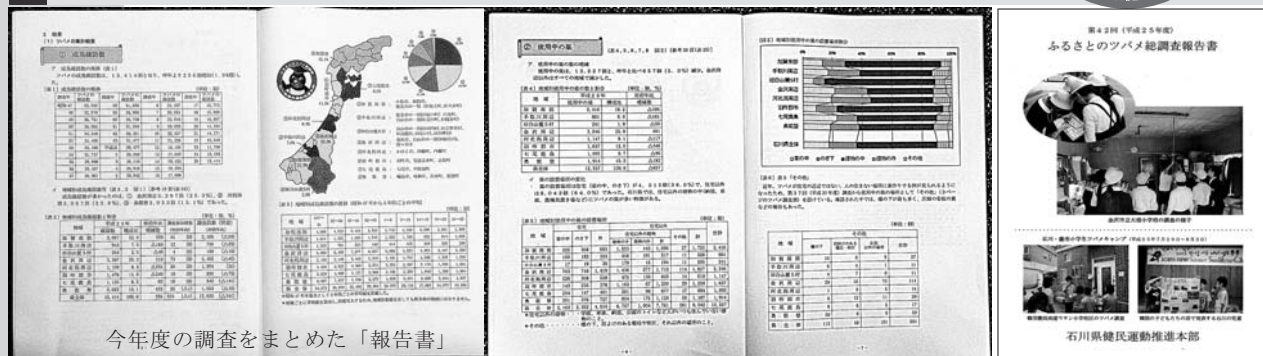
参加記念の缶バッジ



環境・文化活動の推進



第42回 ふるさとのツバメ総調査報告書 完成・配布

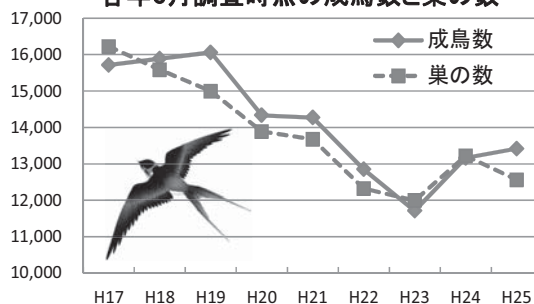


5月10日から16日の愛鳥週間に実施した「第42回ふるさとのツバメ総調査」の結果の詳細をまとめた平成25年度版報告書が完成し、県内全公立小学校と市町関係機関に配布しました。42回目を迎えた今回の調査には、県内の全公立小学校の6年生を中心とした児童12,630人（前年比-2.6%）が参加しました。

■ 調査結果の概要

ツバメの成鳥数は13,414羽で、前年比で256羽(+1.9%)の増加。使用中の巣では12,557個で、前年比で657個(-5.0%)の減少が見られました。地域別では、成鳥数では加賀南部、金沢周辺、七尾鹿島、奥能登地区で増加が見られ、巣の数では金沢周辺のみが増加となりました。

各年5月調査時点の成鳥数と巣の数



■ 結果の分析

ツバメ検討会では、成鳥数の増加については、「3月の気温が高めに推移し、ツバメの飛来が早まったため」。また、巣の減少については、「4月の低温で餌となる虫の発生が減り巣作りの開始が遅れたため」と考えられるとしています。報告書にはツバメ生息環境を考える上で参考となるデータや今年度の作品コンクールの記録、韓国でのツバメキャンプの記録なども掲載しています。

ふるさとのツバメ総調査 平成26年度 ツバメのお宿シール 完成

次年度に実施予定の「ふるさとのツバメ総調査」に使用する「ツバメのお宿シール」が完成しました。シールは今年度の「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」で応募のあった175校、1,696点の中で最優秀賞に選ばれた、能登町立松波小学校5年の坂口歩さんの原画を基に作成されました。ツバメ総調査「ツバメのお宿シール原画コンクール」入賞者は次のとおりです。



最優秀賞	能登町立松波小学校5年	坂口 歩
優秀賞	小松市立安宅小学校6年	濱本 春風
佳作	珠洲市立飯田小学校4年	則貞 遥香
佳作	加賀市立山代小学校6年	若林 海里
佳作	白山市立松任小学校6年	下濱 早紀
佳作	白山市立朝日小学校6年	田村 嘉唯
佳作	川北町立中島小学校5年	高嶺 彩音
佳作	津幡町立条南小学校6年	岡田つぐみ
佳作	内灘町立向栗崎小学校6年	中道 叶

次年度用シール

坂口さんの原画

青少年健全育成活動の推進

平成25年度 青少年ボランティア賞受賞団体・個人 決定

石川県健民運動推進本部が平成7年から実施している「青少年ボランティア賞」の今年度の受賞者、18団体、2個人を決定しました。選考委員会は10月3日(木)、石川県庁において開催し、学校や構成団体等から推薦のあった候補者の中から厳正に選考が行われました。本賞は「自発的に自分の技能や時間を提供して社会に参加し、地域や学校、職場において、ひたむきに他人や社会に貢献する活動を行う青少年又は団体を表彰することにより、次代を担う心豊かでたくましい青少年の育成を図る」ために実施しています。今年度の受賞は団体、個人合わせて20件と過去最高件数となり、若者たちにボランティアの精神が深く根付いてきたことが実感されます。



◇ 平成25年度青少年ボランティア賞受賞団体・個人及び活動内容

〈 団 体 の 部 〉

団 体 名	活 動 内 容
加賀市立 錦城小学校 吹奏楽部	昭和63年より、9月の地域行事「大聖寺十万石祭り」に参加して演奏するほか、地域の老人福祉施設等で年数回ボランティアで訪問演奏を行っている。子どもたちの活動は地域の福祉活動や文化活動及び地域の活性化にも貢献している。
白山市立 湊小学校 青少年赤十字	昭和28年から青少年赤十字に加盟し、近年はプルタブやペットボトルキャップ集めに取り組むほか、6年生が一人暮らしのお年寄りに、育てた菊の鉢を贈るなど、赤十字精神を生かした活動が続けている。また、和太鼓演奏や踊りの披露など、地域に根ざした活動が続けている。
金沢市立 野田中学校	平成20年から毎年3、4回有志が放課後に地域の高齢者宅約30軒を訪れ、家の周囲や道路の除雪を行っている。地域の独居高齢者から毎年大変喜ばれており、感謝の手紙をいただくなど、世代を超えた交流も生まれ、生徒たちの心の成長にもつながっている。
石川県立 加賀高等学校 和太鼓部	平成14年度から福祉施設や町内会の催事、高速道路のサービスエリアなどで和太鼓演奏活動を実施している。地域の高齢化や人口減少が進行する中、和太鼓の躍動感のある演奏は、地域行事に活力を与え、賑わいづくりに貢献している。和太鼓部の活動は他の生徒の模範となっている。
石川県立 小松商業高等学校	学校横を流れる軽海用水の地域住民による清掃活動に、生徒会や運動部の生徒が中心となり、6年前から毎年協力して参加している。生徒達は、長靴を履き、時には水に濡れながらも、献身的に清掃活動に従事し、地域や故郷を愛する心や道徳的な実践力を養う絶好の機会となっている。
石川県立 翠星高等学校 バイオサイエンス研究会	平成6年以来、ササユリやシュンランなどの野生ランの研究を行い、バイオテクノロジーを活用した希少植物の増殖と栽培に関する研究と実践に取り組んでいる。また、地域住民と連携した里山保全活動やササユリなどの自生地復元にも努め、地域の自然環境の保全に大きく貢献している。
石川県立 翠星高等学校 グリーンデザイン研究会	平成16年から白山市竹松海岸で市の天然記念物ハマナスの自生地保護活動をボランティア団体と連携して実施している。ハマナスの自然減少や盗掘、バイク等による踏み荒らし等の問題が発生する中、地域ボランティアと連携してハマナスの増殖に努め成果をあげている。
石川県立 津幡高等学校 朱鷺サポート隊	平成20年度から、いしかわ動物園の朱鷺の餌となるドジョウの養殖を行うほか、地域の営農組合と提携し、ドジョウを使った無農薬米の生産と“朱鷺の里”づくりを行っている。また、昨年度からは東日本大震災被災地を訪問して支援物資を届け、支援活動を展開している。
石川県立大学 学生援農隊あぐり	輪島市白米千枚田で「田植え」「畦畔除草」「はぜ起こし」等のボランティア活動を行うほか、七尾市中島町小牧の伝統祭事「虫送り」「お熊甲祭り」にボランティアとして継続的に参加している。伝統行事や伝統文化の体験を通して地域との交流を継続し、地域の振興に大いに貢献している。

団 体 名	活 動 内 容
金沢工業大学 吹奏楽部	平成18年から老人介護施設、生活支援センター、特別支援学校、保育園等で、部員自らが企画した訪問演奏活動や交流活動を実施している。訪問活動の終了時には特別養護老人ホームの入所者から感謝の言葉をいただくなど、ボランティア活動として定着し、地域から期待されている。
金沢星稜大学 野外スポーツ部	「いばい捨て等防止条例街頭キャンペーン」等のキャンペーン参加のほか、いしかわ子ども自然学校の野外体験活動支援、学生等雪かきボランティア等の自然環境保全、子どもの教育支援、障害者支援、地域コミュニティ活動支援など、多様な社会貢献活動を継続的に実施している。
金沢学院大学 日本史研究会	平成19年から能登半島地震で被災した穴水町の「中橋家文書」及び「小林家文書」の整理をボランティア活動として実施している。また、整理した古文書目録の作成を進めるなど、地域の文化財保存に貢献する活動により、地域の方々から期待され、感謝されている。
山代児童センター 山代っ子 ボランティア	敬老の日には、プレゼントを持って高齢者宅を慰問するほか、高齢者施設利用者対象の「ひな祭りお茶会」の開催、高齢者施設を訪問しての交流活動や地域の敬老会でのダンスの披露など、世代を超えた交流を長年継続的に実施しており、地域の高齢者福祉活動への貢献は大である。
作見児童センター 作見っ子 ボランティア	平成20年から児童センターで、夏祭り、餅つき大会を企画実施し、高齢者や地域の方を招待して交流している。また、生活改善推進員から郷土料理を学び、伝統料理の文化を絶やさない取組を行うなど、世代を超えた交流を長年継続的に実施しており、地域に大きく貢献している。
動橋児童センター 動橋っ子 ボランティア	高齢者世帯などへの配食サービス協力や地区の多機能ホームへの慰問交流活動、地域伝承市無形文化財「ごり呼び唄」等の復活継承、高齢者との「ふれあい遠足」や「餅つき」、「音楽会」等、世代を超えた交流を長年継続的に実施しており、地域への貢献は大である。
金沢市 子ども会連合会 シニア委員会	昭和57年から金沢市子ども会連合会の3大行事（子ども提灯太鼓行列、グラウンド・ゴルフ大会、金沢市子ども会大会）に指導者として参加するなど、子ども会活動の活性化に貢献したほか、東海北陸地区のシニアと交流し、ボランティアの輪を大きく広げた功績は大である。
金沢市 芳青少年消防クラブ	金沢市立中央小学校芳青校区で、拍子木を使った「火の用心」の伝統を継続させ、子どもたちによる地域づくりと防災活動に努めている。自ら歩くことで防災や安全を確かめ、将来の指導者としての自覚を高め、親子の絆を深めるなど、地域づくりにも大きく貢献している。
新堅町校下 少年連盟	犀川河川敷の清掃活動を毎回30人から50人が参加して、年7回実施している。活動は毎回午前7時から開始し、30分から1時間程度実施している。長年にわたる犀川河川敷の清掃活動の継続により、地域の美化や環境意識の向上に貢献した功績は大きい。

〈 個 人 の 部 〉

氏 名	活 動 内 容
梅野 剛史 石川県スポーツ少年団常任委員	スポーツ少年大会やジュニアリーダースクールなどの研修会の企画運営を行い、レクリエーションや野外活動、集団活動を通して、子どもたちの自主性や創造性、仲間意識を養っている。13年以上中心的立場で携わり、数々の事業に積極的に尽力した功績は大である。
横井 なつ子 金沢市犀川校下青年団団長	平成21年度より地区の青年団の復興に尽力し、23年度には再結成の際に副団長を務め、24年度には団長に就任した。地域の児童対象の合宿など、青少年健全育成活動に精力的に取り組み、青年団復興や地域に寄り添う活動を展開し、地域の青年団をまとめた功績は大である。

平成25年度

青少年ボランティア賞

受賞者

活動例



地域の除雪をする中学生



青少年の健全育成活動を推進



高齢者施設への訪問活動

第2回 ほっと石川ワールドカフェ 【いしかわ若者未来塾】



自己紹介から



「ひやくまんさん」からの連想は？



ボクらの定義「お・も・て・な・し」

10月25日(金)、金沢市香林坊の県NPO活動支援センター「あいむ」において、第2回いしかわ若者未来塾「ほっと石川ワールドカフェ」を開催しました。参加したのは、今の石川についての理解を深め、発展に向かう近未来の石川の姿を語り合おうという若者ら16名。坂本祐央子さん(NPO法人百万石ワールドカフェ)が進行役となり、「北陸新幹線」や話題の「ひやくまんさん」、「お・も・て・な・し」などをテーマとしてグループ毎に話し合い、「ちょっと未来のほっと石川」について、考えを深め合いました。今回も、若者らしい元気でユニークな話題で盛り上がり、模造紙はカラフルなペンで書かれたユニークな発想で埋め尽くされました。今回は少人数で実施されたため、会場の一体感が増し、次回を期待する声が多くありました。テーマとしては、「何を話しても面白いことになりそう。」「石川の名物、観光地」、「英語、中国語の大切さ」、「外国人観光客の対応」「石川の地域性」、「オリンピックについて」などの提案がありました。参加した皆さんはそれぞれに真剣に考え、未来を担う若者の意欲がうかがえる有意義な会となりました。

「子どもたちの夢」が、今どんどん実現しています！！

カポエイラというブラジルの文化をたくさんの人に見てもらいたい 知ってもらいたい

健民運動推進本部が実施している子どもドリームフェスティバル事業で、金沢市の「ゲト カポエイラ キッズ」の夢が10月27日(日)に実現しました。



幼児から中学生までのキッズの皆さん



素早い動きに、カメラがついていきません。

10月27日(日)、石川県産業展示館3号館で開催された「子育て支援メッセ石川2013」のステージで、健民運動推進本部が助成して夢の実現を目指したグループ「ゲト カポエイラ キッズ」が、会場を訪れた多くの県民の皆さんを前に、日頃から練習を重ねてきた「カポエイラ」を披露しました。カポエイラは、格闘技やダンス、音楽などが融合したブラジルの伝統文化で、独特のステップやアクロバティックな動きが特徴です。格闘技の組み手風に戦う2人を囲んで、歌と音楽で盛り上げ、グループが一体化することが醍醐味です。出演した子どもたちは、来年1月19日(日)の県立音楽堂・邦楽ホールでの発表に向けて、この後一層歌や技に磨きをかけていきたいと意欲をのぞかせていました。

健民運動活動紹介・奨励コーナー

石川郷土史学会主催 平成25年度 **金沢歴史散歩** 実施



橋本正哉副館長の開会挨拶



第1部 村本さんの講演



熱心な聴衆の皆さん



第2部 笠原さんの講演

10月25日(金)、金沢市本多町の石川県立図書館において、石川郷土史学会の主催で平成25年度の「金沢歴史散歩」が開催されました。今回は出羽町界隈と兼六園を歩き、兼六園を中心とした歴史探訪の予定でしたが、台風27号の接近にともなう大雨注意報などの発令により、急遽予定を変更して、県立図書館2Fの県民交流室での講演会になりました。講演会の前半は、郷土史学会会員の村本外志雄さんが担当し、旧出羽町練兵場、旧兼六園球場(本多の森ホール)、旧陸軍第九師団司令部・旧陸軍偕行社等の明治以降から昭和までの変遷をたどる、興味深い講演でした。また、後半は、同じく郷土史学会の笠原慎治さんによる、戦国時代から昭和期までの兼六園の園地の変遷と金沢市内の犀川の流域や出羽町を中心とする寺院の歴史に関する講演が行われました。大雨のため散歩は行われませんでしたが、身近な街や公園に関する歴史に触れることができ、質問なども熱心に行われて大変有意義な講演会となりました。

当日の資料より1



県立歴史博物館付近(明治42年頃)

当日の資料より2



本多の森ホール付近(昭和30年・兼六園球場)

ふるさと文化再発見事業 **加賀献木木遣り** の復活と保存・継承



木場小学校の収穫祭で再現された「加賀献木木遣り」



11月10日 南部公民館での「加賀献木木遣り唄」の発表

11月2日(土)に開催された小松市立木場小学校の収穫祭で、今年度健民運動推進本部が「ふるさと文化再発見事業」で追加採択した「加賀献木木遣り」が披露されました。当日は子どもたちの日頃の学習成果が発表され、保護者や地域の方など約250人が参加しました。子どもたちは保存会の方の指導で再現された「加賀献木木遣り」の体験も行いました。学校近くの木場潟は、古来大杉谷の木材集積地で、作業歌として地域毎に「木遣り唄」が盛んに歌われました。保存会では、「献木木遣り」を平成27年春、天皇皇后両陛下をお迎えして開催される第66回全国植樹祭で紹介し、おもてなしの機運を盛り上げたいとしています。

ふるさと文化再発見事業 ふるさと高階再発見！ 講演会を開催

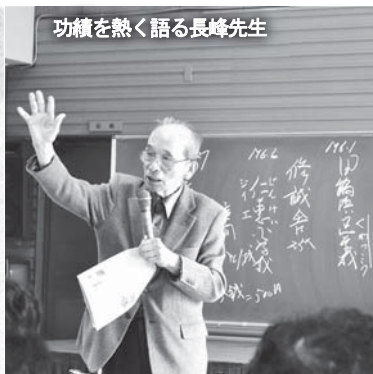
11月4日(月・振)、七尾市の高階公民館において、ふるさと文化再発見事業で健民運動推進本部が助成した「ふるさと高階再発見！」の講演会が開催されました。この講演会は高階公民館の「サークル発表会」の一環として開催され、郷土史家長峰和人氏の調査研究で明らかになった高階の偉人「野村謙三氏」の業績が紹介されました。長峰氏は日本の近代教育の黎明期、私財を投じて地域の人材育成に貢献した謙三翁の人間像を熱く語り、講演会は聴衆の皆さんに深い感銘を与えるものとなりました。



事業について紹介する山本進館長



作成された冊子



功績を熱く語る長峰先生



高階公民館



除草整備された功績碑周辺

参加しましょう！ 第22回 石川県民スポーツ・レクリエーション祭

◇ 12月の開催市町・期日・大会名・会場・主管団体

開催市町	期日	大会名	会場	主管団体
金沢市	12月23日(月・祝)	Join-usファミリーバドミントン交流大会	いしかわ総合スポーツセンター	NPO法人かなざわ総合スポーツクラブ

12月の健民運動カレンダー

H25.11.22現在

12/1(日) 平成25年度 桜の保全管理講習会「せせらぎの郷振興会」
会場：せせらぎの郷 会議室(小松市)
主催：石川県健民運動推進本部

12/1(日) 平成25年度 石川県子ども会連合会育成指導者研修会
会場：金沢市教育プラザ富樫
主催：石川県子ども会連合会

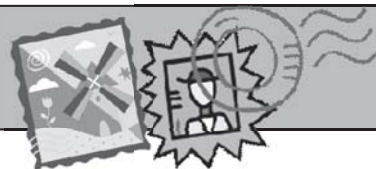
12/1(日) ~ 9(月) 「家庭の日」作品コンクール入選作品展
会場：いしかわ子ども交流センター七尾館(七尾市)
主催：石川県健民運動推進本部

12/8(日) 第42回石川県スポーツ少年団剣道交流大会
会場：いしかわ総合スポーツセンター(金沢市)
主催：石川県スポーツ少年団

12/8(日) 第25回石川県スポーツ少年団バドミントン交流大会
会場：河北台健民体育館(かほく市)
主催：石川県スポーツ少年団

12/15(日) ~ 24(火) 「家庭の日」作品コンクール入選作品展
会場：いしかわ子ども交流センター(金沢市)
主催：石川県健民運動推進本部

「あいむ」だより



* 収集物（11月分）*

＜使用済み切手など＞ 障害保健福祉課、厚生政策課、建築住宅課、石川県立ろう学校
犀川河川愛護会、匿名の方1件の計 6 件。

ご協力ありがとうございました。ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

お知らせ

平成25年度 石川県NPO起業実践講座開催事業 -つながり広がる石川の種を育てよう- 12月の予定

社会をちょっと良くするアイデアや行動力など、この講座を通じて学び合う場を提供します。仲間を増やし、事例を学び合い、アイデアを磨き、企画をつくり、クラウドファンディングなどの財源や広報のコツなどの講座を金沢、能登、加賀で開催しています。

「第5回 理解力Ⅱ ～詳しく知る、感じる：NPO法人を学ぶ～」

会 場	金 沢 会 場	能 登 会 場	加 賀 会 場
日 時	12月1日(日) 10時	12月8日(日) 10時	12月15日(日) 9時30分
場 所	石川県NPO活動 支援センター 金沢市香林坊 2-4-30/ラモータ7F	能 登 空 港 輪島市三井町洲衛 10-11-1	蘇 梁 館 加賀市熊坂町 ハ28-3
定 員	15名	20名	25名
備 考	・各会場とも約2時間です。 ・参加料は無料です。 主催：(特)百万石ワールドカフェ		

「第6回 実行力Ⅰ ～実行する、アクションする：クラウドファンディング～」

会 場	能 登 会 場	加 賀 会 場
日 時	12月3日(火) 16時	12月3日(火) 10時
場 所	能 登 空 港 輪島市三井町洲衛 10-11-1	蘇 梁 館 加賀市熊坂町 ハ28-3
定 員	20名	25名
備 考	・各会場とも約2時間です。 ・参加料は無料です。 主催：(特)百万石ワールドカフェ	

《詳細情報・参加のお問合せ・お申込み》下記のURL、またはE-mailでお申込みください。
席に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。

(特)百万石ワールドカフェ

<http://www.hyakumangoku.org/> facebook:<http://www.facebook.com/100m.worldcafe>
E-mail:support@hyakumangoku.org (お名前、団体に所属されている場合は団体名)

石川県NPO活動支援センター（あいむ）

〒920-0961 金沢市香林坊2丁目4番30号 香林坊ラモータ7階
TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559 <http://www.ishikawa-npo.jp>
会議・打合せ等に「あいむ」をご利用ください！(会議室使用料 無料)
お問合せ、ご予約は上記「石川県NPO活動支援センター（あいむ）」まで、
お気軽にどうぞ。
香林坊地下駐車場をご利用ください。駐車料金を助成しています。



薫 風

花づくりは、一年の芸術

石川花の会
会長 中堀 宏昭

「花づくりは、人づくり

人づくりは、花づくりから！」

「うまく咲かなくても、苦勞と努力があれば、良しとし、それをくみとりたい。」

私がいつも心に、きざんでいる、言葉です。

美しい花が咲いているところには、必ず、すばらしい人物(指導者)がいます。

どんなに美しい花でも、一年の命です。

花づくりをする人は、絵にたとえれば、一年間かけて「キャンパスに、絵を描く人」なのです。

でも、花がなくなった次の年には、新しい構想を練り、春から再び絵を描き始めるのです。

これを何年も何年も、繰り返しているのです。

中学生は、「長くて、短い」学校生活の中で美しい花と出会い、心に残る思い出をいだいて巣立ちます。

しかし、人生を、明るく元気に問題もなく進む人も多いと考えますが、現実と理想の狭間で絶望感で、涙が止まらない人もいます。

生まれて、結婚し、死ぬまでの長い人生の旅路には、数々の節目となる時があります。その時々には美しい花を飾り、来し方行く末に思いをはせることも多くあるでしょう。その花を見たとき、あの学校の花壇がパノラマのように心に広がり、幸せと安心を実感でき、いつまでも、心の花は、色あせることがないのです。

県内の市町では花いっぱい運動やコンクールの取りやめを検討するケースがあると聞きます。担当者から聞こえた話しですが、「入賞する人は、毎年、おなじで、何年やってもおなじや」とのことでした。

地域を愛し、花を愛し、人びとの人生を豊かにする情操を育むためにも、是非工夫して継続させることを期待したいものです。



白山市立鶴来中学校 校長宮谷先生



白山市立北辰中学校 O B 中島先生



中能登町立
中能登中学校



袋井真平氏



白山市知気寺町
林 紀子 邸



林紀子氏

毎月7日は「健康の日」です。
～ 歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう ～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～

発行：石川県健民運動推進本部

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地 TEL 076-225-1366
石川県県民交流課内健民運動推進本部 FAX 076-225-1363

インターネット



QRコード

E-mail kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp
twitter [@kenmin_undou](https://twitter.com/kenmin_undou)